

2020年(令和2年)7月30日 木曜日

## 新型 コロナ

### 新しい時代の生活 4市長らが議論

新型コロナウイルスに伴う新しい暮らしを考えるシンポジウムが25日、オンラインで開かれた。ビデオ会議アプリを使い、大分、佐伯、竹田、国東の4市長らが意見を交わした。

コロナ禍での課題や行政の取り組みに関心を深めてもらうため、大分学研究会(榎本譲司代表理事)が例会の中で企画。県内外の約50人が参加した。

各市長はそれぞれの対策を紹介し、ウィズコロナの時代の向き合い方も説明。「地方に目を向ける人や企

業が現れている」(三河明史国東市長)など全員が移住促進の好機と捉え、「テレワークを推進する」(田中利明佐伯市長、首藤勝次竹田市長)といった構想を示した。

一方、「都市部の大きな市場で人と会って仕事ができるためのルート整備も必



4市長の説明を聞く参加者

要(佐藤樹一郎大分市長)と交通網整備を重視する意見もあった。

オンライン環境のない人ら13人は大分市府内町のコンパルホールで参加。別府

市小坂の会社員塩手公朗さん(67)は「自治体トップの方針を直接聞き、多様なまちづくりの在り方を知ることができた」と話した。

(渡辺久典)